



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2012年7月1日
ちひろニュースNo.35

品川区

就労支援センター

利用を広げて、さらなる充実を

今年の3月26日から、品川区の中小企業センター1階に、「品川区就労支援センター」が開設され2ヶ月余がたちました。利用率も高く就業にも結びついています。7月1日には、55歳以上の就労を支援する「サポ品川」も移転・開設されます。

区として取り組む

品川区は、昨年度(23年度)、区として雇用・就労施策に取り組むとして、「品川区就労支援センター」を中小企業センターの1階に開設し、ハローワークと品川区が行っている就業支援施策を連携させ区内企業の雇用促進を図るとし、3月26日から取り組んでいます。

まずはこれらの取り組みを進め、今後の展開として、「新卒者やニートなど若者向け就労支援を行う」としていきます。

今まで北品川にあった「サポ品川(概ね55歳からの無料職業紹介所)」も7月1日、同所に移転し運営されます。

区内中小企業の求人支援

ハローワークとともに、区内中小企業が、人材採用に積極的でありながら人材に恵まれない等の状況にあるため、



就業センターがある中小企業センター入口(区役所から徒歩2分ほど)

さらなる充実を

先日、友人に付き添って、この就労支援センターに行きました。友人が求人情報を検索していると、ある若者が「履歴書を一緒に書いてくれたりしませんか…」と不安そうに受付に問い合わせしていました。しかしそういうサポートは行っていません。め、その若者は、とりあえずのパンフレットをもらい、帰っていききました。

一緒に行った友人に聞くと「きちんと就職しようと思ったら、履歴書から勝負しないと」と。また「少し職から離れていれば、不安もある。履歴書を一緒に書いて、相談できる場があればね…」とも言っていました。

こういった不安を抱える若者はどれくらいいるのか：区内若者の実態調査を行い、区としてさらなる支援の充実が必要



中小企業センター1階、「就業センター」

ではないでしょうか。しかし若者への支援は「今後の展開」としています。

私は昨年、議会の一般質問で「就労・自立に困難を抱えた若者への就労支援」を求めて質問しました。まずは一歩ですが、就労支援センターができ、4月に就業につながったのが15名。5月は20名と区民委員会では報告されました。相談機関やスキルアップ支援など、きめ細かな支援の充実を求めています。

大本の転換を

昨年の自殺者は3万651人、しかも若い世代で増加しています。就職活動の激化による就活自殺など、就職の失敗が自殺の原因として増加。内閣府の自殺対策白書では、若者の失業率と自殺率に密接な関係があるとし、若年層の雇用情勢の悪化が20歳〜29歳の自殺率を上昇させていると警告しています。

不安定雇用の拡大に歯止めをかけ、長時間・過密労働をなくすこと、大企業による下請けいじめをなくすなど経済の大本を変えなければなりません。

引き続き区議会でも、若者の就労支援と、中小業者の仕事確保を求めて頑張ります。

無料法律相談

とき：7月23日(月)

時間：18:00~

場所：石田ちひろ事務所

弁護士さんと話しをうかがいます。

事前にご連絡ください。

5742-6818

日本共産党品川地区委員会主催